

2022年度

運輸安全報告書

駿遠運送株式会社

本レポートは

お客様からより一層信頼され、地域社会の発展に貢献できることを目指して、私たちが「安全・安心」を第一としたサービスを提供するために取り組んでいることを紹介するものであります。

目次

1. 輸送の安全に関する基本的な方針	3
2. 輸送の安全に関する目標および当該目標の達成状況	4
3. 自動車事故報告規則第2条に規定する事故に関する統計 (総件数および類型別の事故件数)	5
4. 輸送の安全に関する組織体制および指揮命令系統	5
5. 輸送の安全に関する重点施策	5
6. 輸送の安全に関する計画	6
7. 輸送の安全に関する予算等の実績額	8
8. 事故、災害等に関する報告連絡体制	8
9. 安全統括管理者、安全管理規程	8
10. 輸送の安全に関する教育および研修の計画	8
11. 輸送の安全に関する内部監査結果およびそれを踏まえた措置内容	9



1. 輸送の安全に関する基本的な方針

当社では、輸送の安全確保に関する基本方針を以下のように定め、全社員による安全を最優先とする体制の維持・向上に努めてまいります。

基本方針

1. 道路交通法を遵守した事故防止
2. 運行管理業務の充実
3. 使命と役割を理解させる教育の充実

安全に関する声に真摯に耳を傾け現場の状況を十分に踏まえつつ、輸送の安全の確保が最も重要であるという認識を徹底します。

輸送の安全に関する計画の策定、実行、確認、改善を確実に実施し常に見直すことにより、全社員が一丸となって業務を遂行することにより、絶えず輸送の安全性の向上に努めます。

2. 輸送の安全に関する目標および当該目標の達成状況

2022 年度に設定しました目標および達成状況は次のとおりであります。

	目 標		達 成 状 況
1	事故件数の撲滅 ・外部講師による事故防止研修会 ・ドライバーズコンテスト実施 ・リフトコンテスト実施 ・チャレンジラリー92日参加 (K-mix 主催) ・無事故チャレンジラリー120日参加 (中交協主催)	○ ○ ○ ○ ○ ○	・事故防止研修会 (6/28, 7/5, 7/19) ・第2回ドライバーズコンテスト実施 (7/17) ・第2回リフトコンテスト実施 (9/3) ・チャレンジラリー92日に全社員参加 (10/1~12/31) ・無事故チャレンジラリー120日に5名参加 (6/1~9/30)
2	コンプライアンス対応の強化 ・安全ハンドブックの刷新 ・乗務基準違反に対する個人指導 ・年5日年次有給休暇の取得 ・36協定順守のための時間外労働管理の徹底	○ ○ ○ ×	・実施 ・乗務基準違反者に対する個人指導を実施 (毎月) ・全従業員取得 ・8名不順守
3	運転士の健康管理 ・健康経営睡眠力向上サポートセミナー ・ストレスチェックの実施 ・脳MRI検診 ・インフルエンザ予防接種補助制度継続 ・感染予防備品の支給	○ ○ ○ ○ ○	・快眠セミナー開催 (11/5) ・ストレスチェックの実施 (健保加入者) ・40歳以上運転士 (32名) ・予防接種費用補助制度継続 (会社・健保補助) ・マスク、携帯用消毒を支給。消毒液、ペーパータオルを事務所に常備

3. 自動車事故報告規則第2条に規定する事故に関する統計

2022年4月1日から2023年3月31日までの期間における事故件数は、次のとおりであります。

【駿遠運送株式会社】

事故総件数 0件

【磐田運送株式会社】

事故総件数 0件

4. 輸送の安全に関する組織体制および指揮命令系統

(別紙2)『輸送の安全に関する組織体制および指揮命令系統』参照

5. 輸送の安全に関する重点施策

基本方針に基づいて、重点的に実施する施策は次のとおりであります。

- ・輸送の安全の確保が最も重要であるという意識を徹底し、関係法令及び安全管理規程に定められた事項を遵守します。
- ・輸送の安全に関する費用支出及び投資を積極的かつ効率的に行うように努めます。
- ・輸送の安全に関する内部監査を行い、必要な是正措置又は予防措置を講じます。
- ・輸送の安全に関する教育及び研修に関する具体的な計画を策定し、これを的確に実施します。
- ・輸送の安全に関する情報の連絡体制を確立し、社内において必要な情報を伝達、共有します。

6. 輸送の安全に関する計画

重点施策に対応して、輸送の安全を確保するための必要な施策を次のように計画し、実施しました。

1 教育計画の策定及び実施

・技能研修、知識習得教育の実施

集合教育（事故防止研修会 6/28, 7/5, 7/19 75名）

（整備研修会 11/19, 12/3 158名）

（現場での安全対策 5月 11月 全支店・事業所実施）

（飼料輸送研修会 7月 1月 事業所実施）

（生乳輸送研修会 8月 2月 事業所実施）

（生体輸送研修会 9月 3月 事業所実施）

個人指導（各支店、営業所で毎月実施）

（連続運転、会社指定速度超過、拘束時間、運転ランキング下位者、事故惹起者）

・運輸安全マネジメント会議の開催（毎月開催）

・初任適性診断の実施（5名）、65歳以上の適齢診断の実施（12名）

2 法令遵守の徹底

・法令に基づいた勤務割の作成（各支店、事業所で毎月作成）

・アルコール検知器の使用（全支店、事業所で全社員実施）

・デジタコの活用（運行管理者による適正運行のチェック）

3 安全管理体制の構築

・安全管理規定の運用

・点呼の確認事項の厳正化と実施

・出発帰着 IT 点呼の確認事項厳正化と実施

4 健康管理の徹底

・点呼時の健康状態の把握の徹底

・個人面談による健康ヒアリングの実施

・MRI 検査の実施（運転士対象 32名）

・ストレスチェック実施

・健康セミナー実施（講師 一般社団法人日本快眠協会）

5 車両管理の徹底

・車検・3ヶ月点検項目、作業内容の確認と実施



2022年6月28日 事故防止研修会



2022年12月3日 整備研修会

6 表彰

社内表彰

- ・ デジタコに基づいた安全運転ランキング優良運転士表彰 年2回表彰 66名
- ・ 運転無事故者表彰 無事故10年2名 無事故5年9名
- ・ 永年勤続 40年表彰 1名 20年表彰 2名
- ・ 優秀運転者表彰 1名
- ・ 特別功労者表彰 1名

(受賞)

事業所表彰受賞

- ・ 静岡県自動車連合会安全運転コンクール

藤枝支店	静岡県トラック協会長表彰受賞	一般表彰
浜松支店	〃	一般表彰
掛川支店	〃	一般表彰・特別表彰
- ・ 自動車安全運転センター・静岡県警察本部

浜松支店	優秀安全事業所表彰受賞	金賞
磐田支店	〃	銀賞
掛川支店	〃	銀賞

従業員表彰受賞

- ・ 静岡県高速道路交通安全協議会 高速隊長・県会長連名表彰 優良運転者表彰 2名受賞
- ・ 静岡県高速道路交通安全協議会 支部長表彰 優良運転者表彰 1名受賞
- ・ 全日本トラック協会優秀運転者顕彰 銀十字章(無事故10年以上) 3名受賞
- ・ 中部運輸局静岡運輸支局長表彰 永年勤続運転者表彰 1名受賞
- ・ 中部運輸局長表彰 永年勤続功労運転者表彰 1名受賞

7. 安全スローガン

四半期ごとに安全スローガンを掲げ事故防止

- ・ 4～6月 「ゆとりある運転で速度超過撲滅」
- ・ 7～9月 「漫然作業からの荷物事故撲滅」
- ・ 10～12月 「周囲確認の徹底・接触事故ゼロ」
- ・ 1～3月 「安全確認・安全確保で労災事故ゼロ」

7. 輸送の安全に関する予算等の実績額

2022年度の輸送の安全に関する予算等の主な実績額は、次のとおりであります。

(単位：千円)

主な項目	金額
運転ランキング優秀者表彰 (66名)	1,980
無事故報奨金制度 (102名)	1,020
IT点呼人件費	6,500
合計	9,500

8. 事故、災害等に関する報告連絡体制

(別紙3)「事故、災害等に関する報告連絡体制」参照

9. 安全統括管理者、安全管理規程

- ① 安全統括管理者：役職名 常務取締役 氏名 植田卓也
- ② 安全管理規程：(別紙1)『安全管理規程』参照

10. 輸送の安全に関する教育および研修の計画

社員に対して「運輸安全マネジメント」の周知徹底を図るため、次のような教育および研修を計画し実施しました。

- ・ドライバーズコンテスト
- ・リフトコンテスト
- ・事故防止研修会
- ・各現場主催の小グループ安全研修の実施
- ・初任運転者研修 (入社時に実施)



2022年9月3日 リフトコンテスト



2022年7月17日 ドライバーズコンテスト

11. 輸送の安全に関する内部監査結果およびそれを踏まえた措置内容

輸送の安全に関する内部監査を2023年2月に実施し、その結果およびそれを踏まえた措置内容は次のとおりであります。

1. 内部監査概要

- (1) 監査目的 : 輸送の安全確保に関する業務について、その活動が安全管理規程に基づき、適切に実施・維持され、機能していることを確認するとともに、その運用の状況を検証・評価することにより、輸送の安全性の維持および向上を図ること。
- (2) 監査項目 : ① 前年度指摘事項への対応状況
② ガイドラインに定められた事項への対応状況
③ 安全管理規程に関わる業務全般について
- (3) 監査方法 : 書類監査およびインタビュー
- (4) 監査対象期間 : 2022年1月1日～12月31日
- (5) 監査対象者 : 社長、安全統括管理者、営業部管理課（安マネ推進部署）
- (6) 監査責任者 : 安全統括管理者 植田 卓也（常務取締役）
監査担当者 : 総務人事課 課長 森 勇樹

2. 監査結果

(1) できていること

① 運輸安全マネジメント制度に積極的に取り組んでいる

- ⇒ 安全情報の公表（安全報告書） ⇒ 静鉄グループ運輸安全マネジメント会議への参加
- ⇒ 安全管理規程の作成 ⇒ ドライバーズコンテスト・リフトコンテストの開催
- ⇒ 安全統括管理者の専任

② 運輸安全マネジメント会議を毎月開催している

⇒ 経営トップから現場社員まで参加（労働組合役員も出席）して毎月安全マネジメント会議を開催しており、事故情報の共有や再発防止策、労災事故も含めた安全管理について議論している。また、ヒヤリ・ハット情報の収集もしている。

【ガイドライン(7)事故、ヒヤリ・ハット情報等の収集・活用】

【ガイドライン(12)マネジメントレビューと継続的改善】

③ 安全方針、安全重点施策が策定されている

【ガイドライン(2)安全方針】

【ガイドライン(3)安全重点施策】

④ 毎年内部監査を実施して取り組み状況を確認している

【ガイドライン(11)内部監査】

(2) 改善すべき事項

- ① 前年度内部監査のフォローアップ監査が未実施（指摘後の対応状況を確認していない）
- ② 安全方針、安全重点施策、安全管理規程が策定から一度も修正されていない

■ 安全管理規程（平成18年12月1日制定）※安全方針・重点施策も同時に制定

③ 前年度指摘事項への対応未実施(3件)

【1】安全方針・安全重点施策

- ・社員の安全方針や目標に対する理解度を定期的に把握する ⇒ 未実施
(交通安全運動等の事故防止啓発活動とともに実施する等)

【2】情報伝達及びコミュニケーションの確保

- ・本社管理部門（安全対策課）から店所へ情報が伝達される場合 ⇒ ○
情報共有する対象者の範囲を統一する（22'9月 通達済）

【3】事故、ヒヤリ・ハット情報等の収集・活用

- ・マネジメントレビューの機会等を活用し事故、ヒヤリ・ハット ⇒ 未実施
情報の分類、整理・分析方法を検証し、改善を図る。
(2022年ヒヤリ・ハット報告件数 48件/年)

⇒アマネ会議で毎月報告されているが、内容の検証や対策の立案、他部署への展開、分類・整理はできていない。(動画の共有は一部で実施)

【4】安全管理体制の構築・改善に必要な教育・訓練

- ・本社従業員に対しても机上訓練等を用いて輸送の安全の重要性を ⇒ 一部実施 (△)
全社で共有する教育を実施する。(11/5 合同研修会実施)
- ・マネジメントレビューの機会等を活用し、安全に関する教育・訓練
の実施結果を検証し、改善を図る。

【5】記録の作成及び維持

- ・店所単位の安全に関する教育・研修記録を適切に保管する。 ⇒ ○

④ 業務分掌職務権限規程について

- ・運輸安全マネジメントに関する内部監査の業務分掌が定められていない。
⇒安全監査（保安監査）の実施・・・営業部管理課は現行規程に記載アリ

(別紙1)『安全管理規程』

安全管理規程

目次

- 第一章 総則
- 第二章 輸送の安全を確保するための事業の運営方針
- 第三章 輸送の安全を確保するための事業の実施及びその管理体制
- 第四章 輸送の安全を確保するための事業の実施及び管理方法

第一章 総則

(目的)

第1条 この規程(以下「本規程」という。)は、道路運送法(以下「法」という。)に基づき、輸送の安全を確保するために遵守すべき事項を定め、もって輸送の安全性の向上を図ることを目的とする。

(適用範囲)

第2条 本規程は、駿遠運送株式会社の一般貨物自動車運送事業に係る業務活動に適用する。

第二章 輸送の安全を確保するための事業の運営方針

(輸送の安全に関する基本的な方針)

第3条 社長は、輸送の安全の確保が事業経営の根幹であることを深く認識し、社内において輸送の安全の確保に主導的な役割を果たす。また、現場における安全に関する声に真摯に耳を傾けるなど現場の状況を十分に踏まえつつ、社員に対し輸送の安全の確保が最も重要であるという認識を徹底させる。

2 輸送の安全に関する計画の策定、実行、確認、改善を確実に実施し安全対策を常に見直すことにより、全社員が一丸となって業務を遂行することにより、絶えず輸送の安全性の向上に努める。また、輸送の安全に関する情報については積極的に公表する。

(輸送の安全に関する重点施策)

第4条 前条の輸送の安全に関する方針に基づき、次に掲げる事項を実施する。

- 一 輸送の安全の確保が最も重要であるという意識を徹底し関係法令及び安全管理規程に定められた事項を遵守すること。
- 二 輸送の安全に関する費用支出及び投資を積極的かつ効率的に行うよう努めること。
- 三 輸送の安全に関する内部監査を行い、必要な是正措置又は予防措置を講じること。
- 四 輸送の安全に関する教育及び研修に関する具体的な計画を策定しこれを的確に実施すること。

五 輸送の安全に関する情報の連絡体制を確立し、社内において必要な情報を伝達、共有すること。

(輸送の安全に関する目標)

第5条 前条に掲げる方針に基づき、目標を策定する。

2 無免許、薬物、飲酒運転のゼロ化を目指し、過労勤務・速度違反の危機意識の浸透を図り、健康管理の重要性の周知を目標とする。

(輸送の安全に関する計画)

第6条 前条に掲げる目標を達成し、輸送の安全に関する重点施策に応じて輸送の安全を確保するために必要な計画を作成する。

第三章 輸送の安全を確保するための事業の実施及びその管理体制

(社長等の責務)

第7条 社長は、輸送の安全の確保に関する最終的な責任を有する。

2 経営トップは、輸送の安全の確保に関し、予算の確保、体制の構築等必要な措置を講じる。

3 経営トップは、輸送の安全の確保に関し、安全統括管理者の意見を尊重する。

4 経営トップは、輸送の安全を確保するための業務及び管理の状況が適切かどうかを常に確認し必要な改善を行う。

(社内組織)

第8条 次に掲げる者を選任し、輸送の安全の確保について責任ある体制を構築し、輸送の安全を確保するための企業統治を的確に行う。

一 安全統括管理者

二 運行管理者

三 整備管理者

四 その他必要な責任者

2 支店長は、安全統括管理者の命を受け、輸送の安全の確保に関し、管内営業所所長を統括し、指導監督を行う。

3 営業所所長は、支店長の命を受け、輸送の安全の確保に関し、営業所内を統括し、指導監督を行う。

4 輸送の安全に関する組織体制及び指揮命令系統については、安全統括管理者が病気等を理由に不在である場合や重大な事故、災害等に対する場合も含め、別に定める組織図による。

(安全統括管理者の選任及び解任)

第9条 取締役のうち、一般貨物自動車運送事業運輸規則（以下「運輸規則」という。）に規定する要件を満たす者の中から安全統括管理者を選任する。

2 安全統括管理者が次の各号のいずれかに該当することとなったときは、当該管理者を解任する。

- 一 身体の故障その他のやむを得ない事由により職務を引き続き行うことが困難になったとき。
- 二 関係法令等の違反又は輸送の安全の確保の状況に関する確認を怠る等により、安全統括管理者がその職務を引き続き行うことが輸送の安全の確保に支障を及ぼすおそれがあると認められるとき。

(安全統括管理者の責務)

第10条 安全統括管理者は、次に掲げる責務を有する。

- 一 全員に対し、関係法令等の遵守と輸送の安全の確保が最も重要であるという意識を徹底すること。
- 二 輸送の安全の確保に関し、その実施及び管理の体制を確立、維持すること。
- 三 輸送の安全に関する方針、重点施策、目標及び計画を誠実に実施すること。
- 四 輸送の安全に関する報告連絡体制を構築し、社員に対し周知を図ること。
- 五 輸送の安全の確保の状況について、定期的にかつ必要に応じて随時内部監査を行い経営トップに報告すること。
- 六 経営トップ等に対し、輸送の安全の確保に関し、必要な改善に関する意見を述べる等必要な改善の措置を講じること。
- 七 運行管理が適正に行われるよう、運行管理者を統括管理すること。
- 八 輸送の安全を確保するため、社員に対して必要な教育又は研修を行うこと。
- 九 その他の輸送の安全の確保に関する統括管理を行うこと。

第四章 輸送の安全を確保するための事業の運営方針

(輸送の安全に関する重点施策の実施)

第11条 輸送の安全に関する基本的な方針に基づき、輸送の安全に関する目標を達成すべく輸送の安全に関する計画に従い輸送の安全に関する重点施策を着実に実施する。

(輸送の安全に関する情報の共有及び伝達)

第12条 経営トップと現場や運行管理者と運転者等との双方向の意思疎通を十分に行うことにより、輸送の安全に関する情報が適時適切に社内において伝達され、共有できるように努める。また、安全を損なうような事態を発見した場合には看過したり、隠蔽したりせず、直ちに関係者に伝え適切な対処策を講じる。

(事故、災害等に関する報告体制)

第13条 事故、災害等が発生した場合における当該事故、災害等に関する報告連絡体制は別に定める運行管理規程による。

- 2 事故、災害等に関する報告が、安全統括管理者、経営トップは社内の必要な部所等に速やかに伝達されるように努める。
- 3 安全統括管理者は、社内において報告連絡体制の周知を図るとともに、第一項の報告連絡体制が十分に機能し、事故、災害等が発生した後の対応が円滑に進むよう必要な指示等を行う。
- 4 自動車事故報告規制（昭和二十六年運輸省令第百四号）に定める事故、災害等があった場合は、報告規則の規定に基づき、国土交通大臣へ必要な報告又は届出を行う。

(輸送の安全に関する教育及び研修)

第14条 第5条輸送の安全に関する目標を達成するため、必要となる人材育成のための教育及び研修に関する具体的な計画を策定し、着実に実施する。

(輸送の安全に関する内部監査)

第15条 安全統括管理者は、自ら又は安全統括管理者が指名する者を実施責任者として、安全マネジメントの実施状況等を点検するため、少なくとも一年に一回以上、適切な時期を定めて輸送の安全に関する内部監査を実施する。また、重大な事故、災害等が発生した場合又は同種の事故、災害等が繰り返し発生した場合その他特に必要と認められる場合には、緊急に輸送の安全に関する内部監査を実施する。

2 安全統括管理者は、前項の内部監査が終了した場合はその結果を改善すべき事項が認められた場合はその内容を速やかに経営トップに報告するとともに、輸送の安全の確保のために必要な方策を検討し、必要に応じ、当面必要となる緊急の是正措置又は予防措置を講じる。

(輸送の安全に関する業務の改善)

第16条 安全統括管理者から事故、災害等に関する報告又は前条の内部監査の結果や改善すべき事項の報告があった場合若しくは輸送の安全の確保のために必要と認める場合には、輸送の安全の確保のために必要な改善に関する方策を検討し、是正措置又は予防措置を講じる。

2 悪質な法令違反等により重大事故を起こした場合は、安全対策全般又は必要な事項において現在よりも更に高度の安全の確保のための措置を講じる。

(情報の公開)

第17条 輸送の安全に関する基本的な方針、輸送の安全に関する目標及び当該目標の達成状況、自動車事故報告規則に規定する事故に関する統計、輸送の安全に関する組織体制及び指揮命令系統、輸送の安全に関する重点施策、輸送の安全に関する計画、輸送の安全に関する予算等の実績額、事故、災害等に関する報告連絡体制、安全統括管理者、安全管理規程、輸送の安全に関する教育及び研修の計画、内部監査結果及びそれを踏まえた措置内容については、毎年度外部に対し公表する。

(輸送の安全に関する記録の管理等)

第18条 本規程は、業務の実態に応じ、定期的及び適時適切に見直しを行う。

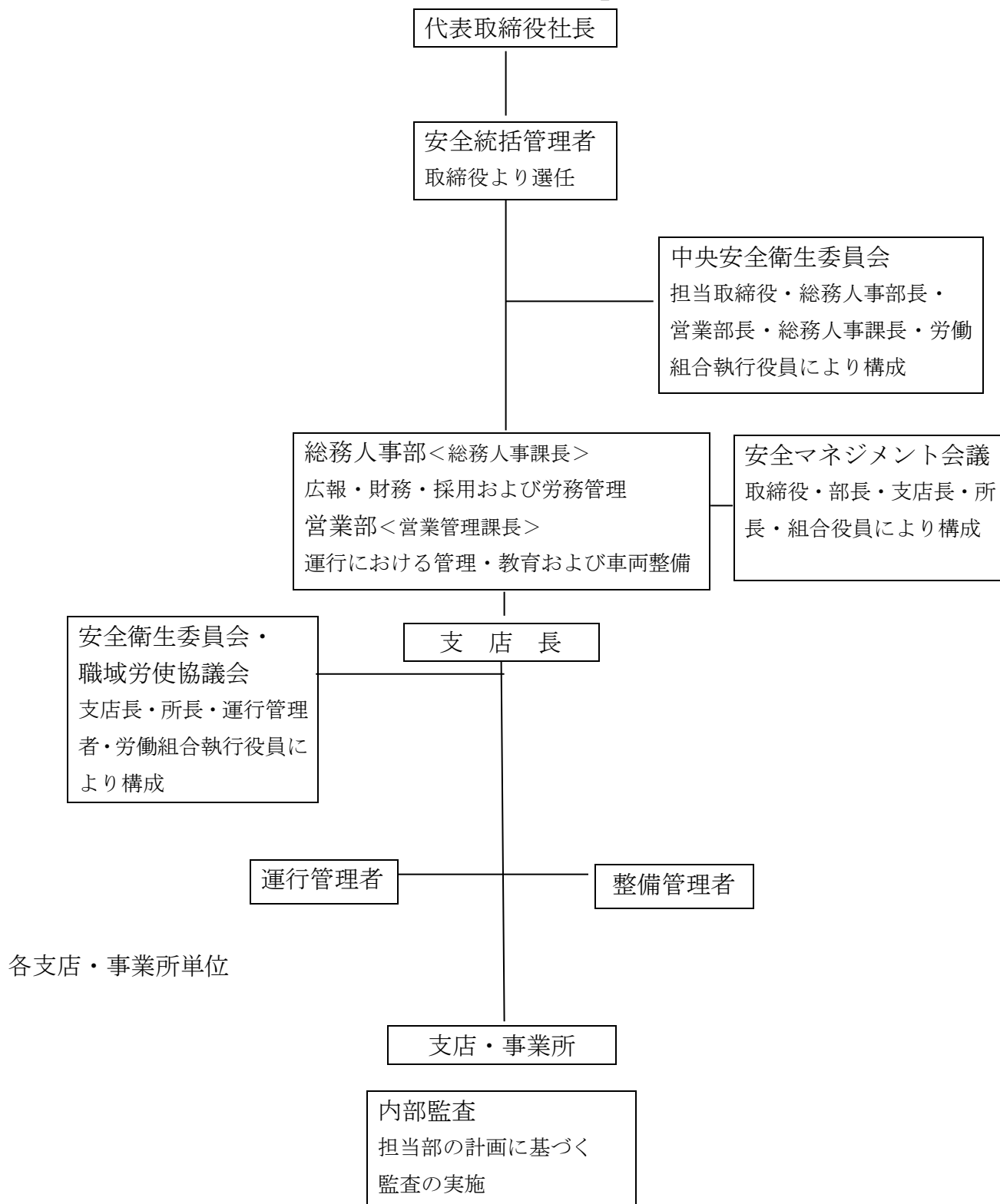
2 輸送の安全に関する事業運営上の方針の作成に当たっての会議の議事録、報告連絡体制、事故、災害等の報告、安全統括管理者の指示、内部監査の結果、経営トップに報告した是正措置又は予防措置等を記録し、これを適切に保存する。

3 前項に掲げる情報その他の輸送の安全に関する情報の記録及び保存の方法は適切に行う。

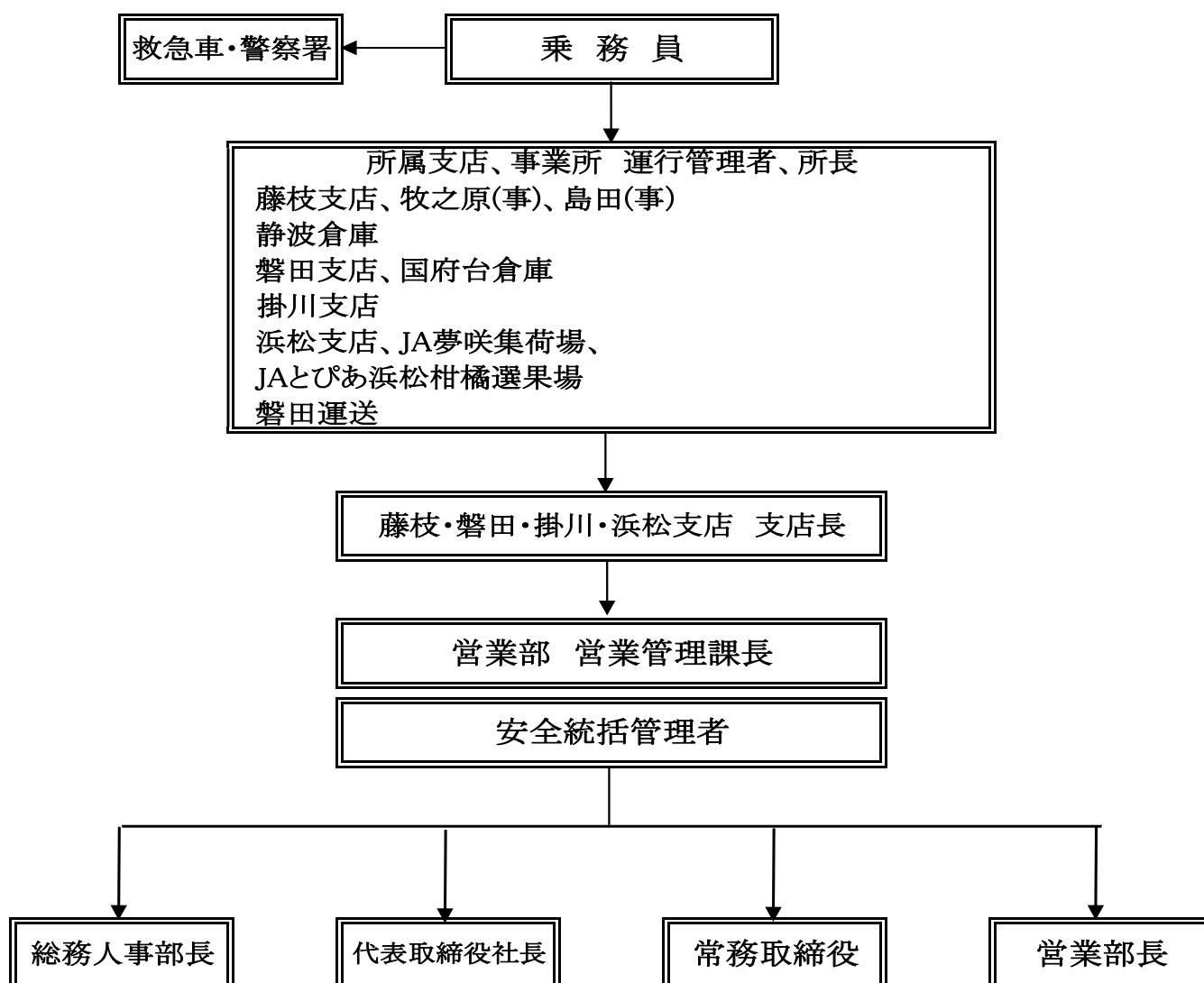
附則

第19条 本規程は平成18年12月1日から実施する。

(別紙2) 『輸送の安全に関する組織体制および指揮命令系統』



(別紙3) 『事故、災害等に関する報告連絡体制』



今後も「運輸の安全安心」に、役員・従業員が一丸となって取り組んで参ります。

当社の「安全」への取り組みに関しまして、ご意見・ご要望などがございましたら、ご連絡くださいませ。

【ご連絡先】

営業部 管理課 (054)641-3015

2022年度 運輸安全報告書

駿遠運送株式会社

〒426-0037 藤枝市青木3丁目2番20号

2023年7月発行